

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

びより

広報
だいせん

だいせん日和

2011

vol.144

4

Proud!

東北関東大震災の復興を支援しよう

Japan

今こそ力を合わせて

JAPAN
TOHOKU

WE ARE WITH YOU

日本、そして東北のみなさん、私たちはあなたたちと一緒にいます

がんばろう東北

市民のみなさんへ

去る3月11日、午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大級のマグニチュード9.0を記録し、東北関東の太平洋沿岸地域では、地震や大津波、原子力災害などにより、甚大な被害を受けています。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

大仙市では、地震発生後、直ちに災害対策本部を立ち上げ対応にあたってきました。市内では、最大で震度5強を観測し、直後から停電、断水となったものの、幸いにも大きな被害はなく、翌日の夜には大部分が復旧しています。

市では、市内の安全を確認した後、翌々日の13日から、対策本部として被災者の安否確認相談や義援金の募金活動を開始するとともに、被災地へ救援物資を輸送するための準備を始めました。

県・関係市町村と連携を取りながら、災害時応援協定を結んでいる国道107号を軸とした北東北地域連携軸構想推進協議会（大船渡市・釜石市・北上市など）ならびに国道46号を軸とした秋田・岩手地域連携軸推進協議会（盛岡市・宮古市など）の被災自治体を中心に、13日から25日までに計7回にわたり、市の災害備蓄品や市民のみなさん、地元企業からいただいた物資や燃料などを届けており、今後も継続して輸送することとしています。

また、18日からは、正式に「避難者サポートセンター」を大曲武道館に設置し、避難者の受け入れおよび生活相談を始めています。市営住宅や雇用促進住宅への即時入居やホテル・旅館など宿泊施設の手配、市民のみなさんからの申し出によるホームステイ受け入れの調整、生活必需品や医療の提供、災害見舞金の給付、無利子の生活資金の貸し付けなどを行っており、23日現在で25世帯79人の方々を受け入れています。

一方、大曲仙北広域消防では、地震発生当日からこれまで5次にわたり70人が緊急消防援助隊として被災地で消火活動や救助活動を行っており、現在も救急隊を中心に活動を続けています。

加えて、発災から8日過ぎた19日からは、津波等で亡くなられた方々のご遺体について、市内3カ所の斎場で、寺院、葬儀社、生花店などのご協力をいただきながら、丁寧に茶毘に付しています。

現在、懸命に復旧作業を進めている被災地が復興にいたるまでは、計り知れない時間と労力がかかると考えられることから、市では、22日に災害対策本部を「被災地・被災者支援本部」に切り替え、長期的に継続して支援することとしています。

また、今後、被災地が復興に向かう段階で、さまざまな分野でボランティアの力が必要となります。市では、現在、市民のみなさんからボランティアを募集し、関係機関と連携を取りながらボランティアのみなさんが被災地で最大限力を発揮できるよう準備を進めています。

いまだ余震が続き予断を許さない状況が続いていることや、電力不足や物流が滞っていることなどにより企業活動が停滞しているなど、普段の生活に戻るには、まだ相当の時間がかかるものと考えられます。市民のみなさんには、被災者・被災地の心情を思い、冷静に行動していただきますようお願いするとともに、被災地における物資や燃料不足を解消するため、今の生活の中でできることから節約に取り組んでいただきますようお願いいたします。

市では、この度の未曾有の災害を日本全体の危機として捉え、被災地の復興のため同じ東北の仲間としてできる限りの支援をしてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年3月25日

大仙市長 栗林次美

だいせん日和

CONTENTS_ 目次

特 集

004 がんばろう東北

東日本大震災から一刻も早い復旧・復興を

004 災害対策から被災地被災者支援に／大仙市被災地・被災者支援本部を設置

005 ルポルタージュ 大船渡&陸前高田市／私たちに“今”できることは

002 栗林次美市長から
市民のみなさんへメッセージ006 平成 23 年度組織機構改革
利用しやすく、分かりやすい組織体制に008 市役所からのお知らせ
第 23 回秋田おばこ節全国大会出場者募集、男女
共同参画審議会委員募集、乳幼児・要介護者が
いる世帯へごみ袋 30 枚無料交付、下水道使用量
の改定、大曲図書館ボランティア募集、メンタ
ルヘルスサポーター養成講座、神岡総合情報セ
ンターパソコン教室、豪雪による農業被害者の
復旧支援 ほか014 健康の達人
在宅医療廃棄物処理について
雁の里 仙南診療所／照井哲院長015 健康通信
麻しん風しん混合予防接種、子宮頸がん予防ワ
クチン接種について
特定健診・各種がん検診が開始

016 図書館情報・4月の市長日程

017 いきいき広場・介護保険事務所から
地域包括支援センターを利用ください
介護保険料の仮徴収について

大仙の逸品

読者

プレゼント

締め切り日 4月30日（消印有効）

— お便り送って商品ゲット —



あじろ編みバックをはじめと
した今回のプレゼント商品
昨年7月にオープンした心紬
の店内には、着物や帯をメー
ンにリメイクした商品がところ
狭しと並び

着物のリメイクで心を癒し そして心を紡ぎます

リフォーム工房「心紬」



【問い合わせ】

北檜岡船戸 558（道の駅かみおか後ろ）

☎ 0187-72-2610

※ 9:00 ～ 16:00（土日定休）

着 物古着や洋服をリメイクして新たな商品を生
み出している、リフォーム工房「心紬」の素敵な
商品。あじろ編みバック、巾着、コースター、カードケ
ース、名刺入れそれぞれをプレゼントします。

着物や帯をメインに古着をドレスやスーツ、ワン
ピース、ジャケット、コート、エプロン、バック、アク
セサリーなどにリメイク。「若いときの着物をバッ
クや巾着などにして母から娘にプレゼントしたケー
スもあります」と黒川次雄代表取締役社長。リメイク
を通して心をも紡ぐ逸品です。

古着のリフォーム以外にも、洋服の直しやオーダ
ーメイドなども可能です。今の時代だから、ものを大
切にしながら心癒す商品はいかがですか。

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の感
想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は商品の発送
をもって代えさせていただきます。

あて先

〒014-8601（住所不要）だいせん日和プレゼント係

ファクス / 0187-63-1119

Eメール / kouhou@city.daisen.akita.jp

※ Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。



- 1 震度5強を観測した市役所の震度計
- 2 机上の書類も散乱
- 3 自家発電の中、情報収集する災害対策本部
- 4 通路に亀裂が入った個所も
- 5 給水車に並ぶ列(コメリパワー大曲店)
- 6 一晩ペアーレ大仙で夜を明かした避難者
- 7 ボランティアによる物資の仕分け運搬作業
- 8 大曲武道館に設置した避難者サポートセンター
- 9 震災による各種相談に応じる総合窓口



がんばろう東北

東日本大震災から一刻も早い復旧・復興を

災害対策から被災地被災者支援に

3月11日午後2時46分に発生した三陸沖を震源とする地震は、国内観測史上最大級のマグニチュード9.0を記録。大仙市でも震度5強を観測。市では直ちに災害対策本部を立ち上げ、市内の停電や断水、避難所設置など災害への対応を行いました。

また、被災地への支援として大曲仙北広域消防による緊急消防援助隊の派遣、災害協定に基づく救援物資や燃料、医薬品などの配送を行っています。

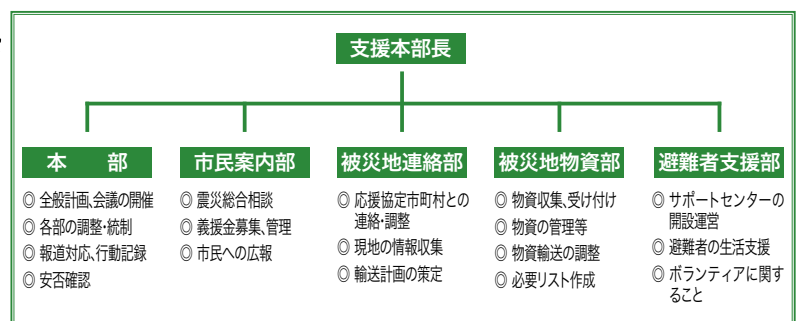
時間の経過とともに、市では災害対策から被災地被災者支援に軸足を移し、栗林次美

市長を本部長に3月22日、下図のような「大仙市被災地・被災者支援本部」を立ち上げ、全庁で被災地の復興支援に向けた体制をとっています。

県外からの避難者の受け入れを行うサポートセンターの設置や、災害義援金の受け付けを各庁舎で行っています。また、今後は被災地復興のためのボランティア募集、状況に応じた派遣などの準備を進めています。

余震が続くなど、予断を許さない状況が続いています。非常事態であることを十分に認識し、できることから節約に取り組んだり、不要なまとめ買いを行わないなど冷静な行動をお願いします。

大仙市被災地・被災者支援本部



私たちに “今、” できることは

救援、復興への願いを積んで

東日本大震災発生から1週間後の3月18日、市民の思いや願いの詰まった救援物資を大船渡・陸前高田両市に届けてきました。大仙市が県内をはじめ岩手県の自治体と結んでいる「災害協定」に基づく支援活動。市長をはじめ職員の激励を受け、午前10時に市役所を出発しました。

市民、地元企業、市職員から提供された物資の中から、被災地の要請で大船渡市へはコメ540㌔、毛布、マスク、おむつ、粉ミルクなどをトラックに、そして陸前高田市へは軽油2㌔リットルをローリー車に積み出発しました。

役所の足下まで津波が

秋田自動車道で北上西JCS、北上西からは東北自動車道で水沢IC、水沢からは国道4号、397号、107号を通り大船渡市へ。途中の商店ウインドーには大きく「がんばろう岩手」というメッセージが張り出され、被災地のたくましい姿に勇気をもらいました。

大船渡市街地では津波災害の復旧工事で一部通行止めの状況でしたが、午後2時20分に第1目的地の大船渡市役所に到着。高台に位置する市役所玄関前には自衛隊の大型給水車が駐車、物資は市役所裏手へ運びました。全国各地からのたくさんの物資がブルーシート

に野積みされている状態。あらかじめ仕分け作業を行っていた大仙市からの物資は、現地の災害ボランティアの手によってスムーズに室内へ搬入されました。

地震発生時、大船渡市役所では市議会開会中。津波は市内の盛川を逆流し、海から約3㌔離れた市役所付近にまで押し寄せました。

チリ津波でもここまでの被害がなかった大船渡市。物資については「当初必要だった毛布類は足りている。調理を必要としない食料、インフルエンザ対策としてビタミン補給のための野菜ジュース、衛生用品が今は欲しい」と現地の災害対策本部では話していました。

搬入が終わった午後2時46分、くしくも大地震はちょうど1週間前の同時刻に発生。サイレンが市内に響く中、犠牲者を悼み一斉に黙とうが行われました。

自然の猛威を目の当たりに

午後2時50分に大船渡市役所を出発。気仙川に沿うように走る国道340号を南下。陸前高田市に入り6㌔ぐらいから川に漂流物が目立ちはじめ、343号との合流点では息をのむ光景が飛び込んできました。「建物が何もない」。市内のほとんどが水没し、いたところで火災が発生するなど、全域で壊滅的な被害を受けた陸前高田市。がれきの壁の中をくぐるように道路が続き、災害対策本部が設置されてい



被災地に向けて4台の車両で出発

る給食センターを目指しました。

緊急車両の燃料基地や避難所も兼ねる目的地には午後3時50分に到着。玄関には生存する市職員の名簿が張り出されていました。

軽油をドラム缶に小分けしている作業中、作業する人から「今回は軽油をもらったが、今度は灯油が底をつきそうだ」と災害現場の深刻な状況を知らされました。

一刻も早い復旧・復興を願い

午後8時25分、無事に任務を果たし帰着。テレビなどで伝えられるように被災地の現状は厳しいものでした。しかし、電気や水道、仮設住宅などといったライフラインの復旧が着実に進んでいます。時間の経過とともに、対応の軸足は住民生活の確保から経済活動の復旧・復興へと移っていかねばなりません。

今回の災害の爪痕はあまりにも大きく、そして深いものです。被災地が立ち直るまでの年月は分かりません。しかし被災地の隣県住人、日ごろから付き合いの深い大仙市において被災地の痛みを感じ、分かち合う姿勢が大切です。

被災された方々が必要とすることは日々刻々と変化します。救援の内容も変われば、被災地復興のためのボランティア、被災地からの避難者受け入れなど、今後とも市民のみなさんをお願いしなければなりません。

私たちに今できることは何か。被災地の一刻も早い復旧・復興に向けて、自分にできること、役割を考え、そして果たすことが大切です。



1 救援物資が集まる大船渡市役所

2 黙とうする被災者

3 がれきの壁をくぐるように陸前高田市の災害対策本部を目指す

4 壊滅状態の陸前高田市



平成23年度組織機構改革

利用しやすく、分かりやすい組織体制に

分かりやすく 効率的な組織に再編

市民サービスを行う行政の屋台骨である組織機構。窓口業務や各種制度など市民サービスに直結する組織の運営について、より効率的で分かりやすい組織づくりが求められます。

市民のみなさんがより利用しやすいように、市では今回の組織機構の再編のために、職員によるプロジェクトチームを編成。調査・検討・ヒアリングなどを集中的に実施し、「市民目線を大前提にすること」「5年後の職員数800人を前提にすること」などを基本に提言書をまとめました。

提出された提言書を基に、これまでの各課の業務内容を検証、複数課にまたがる類似・関連性のある業務を統合するなど検討した結果、再編後の組織機構は53課と2公営企業に。再編前と比べ、29課を減らし、よりスリムな組織体系としました。

また消費生活相談のワンストップ窓口として「消費生活相談室」を設置したほか、今後想定される職員数の大幅な減少に対応し、限られた人員で市民サービスの維持・向上を図るため、総合支所を「支所」とし2課体制にするなど、より効率的な組織づくりを行いました。

組織機構再編の概要

【総務部】

人事課を総務課、収納推進課を税務課にそれぞれ統合。総合防災室と消防安全課消防班の統合により「総合防災課」を新設しました。

人口減少による新たな重要課題である「空き家」対策は総合防災課で担当します。

【市民部】

市民生活部を市民部に改称し、「消費生活相談室」を新設。環境課と消防安全課交通安全班を統合し、「環境交通安全課」を新設しました。

【健康福祉部】

援護福祉課を「生活支援課」に改称。健康増進センター各分室が実施する各種健診のうち、乳幼児健診と集団予防接種の会場を22年度から市内3カ所にまとめていることを踏まえて、健康増進センター中央（大曲保健センター）・東部（中仙庁舎）・西部（西仙北庁舎）の3カ所に集約しました。

【農林商工部】

観光物産課と商業労政課商工部門を統合し「商工観光課」、企業対策室と商業労政課労政部門を統合し「企業対策課」を新設しました。

【建設部】

都市計画課と建設管理課を統合し、「都市管理課」を新設。教育委員会施設管理課を建築住宅課に統合します。

建築住宅課で扱う市営住宅の窓口は今年度から大曲南庁舎1階に設置し受け付けます。

各支所4月からの新体制

各支所

市民サービス課

- ・旧地域振興課業務
- ・旧市民課業務

農林建設課

- ・旧農林振興課業務
- ・旧建設課業務

POINT 総合支所を「支所」に 2課体制へ

各地域の総合支所は「支所」になり、これまでの地域振興課と市民課を統合し「市民サービス課」、農林振興課と建設課を統合し「農林建設課」を新設し、業務を行っていきます。

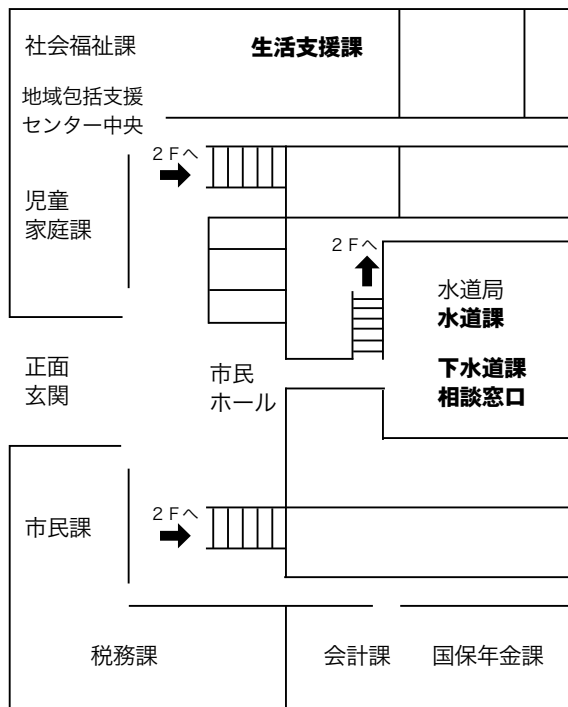
4課体制を2課体制とすることで組織を効率化。これまでの業務を2課に引き継ぎつつ、今後想定される職員数の減少にも対応し、市民サービスを維持・向上できるような体制を整えました。

Office Map

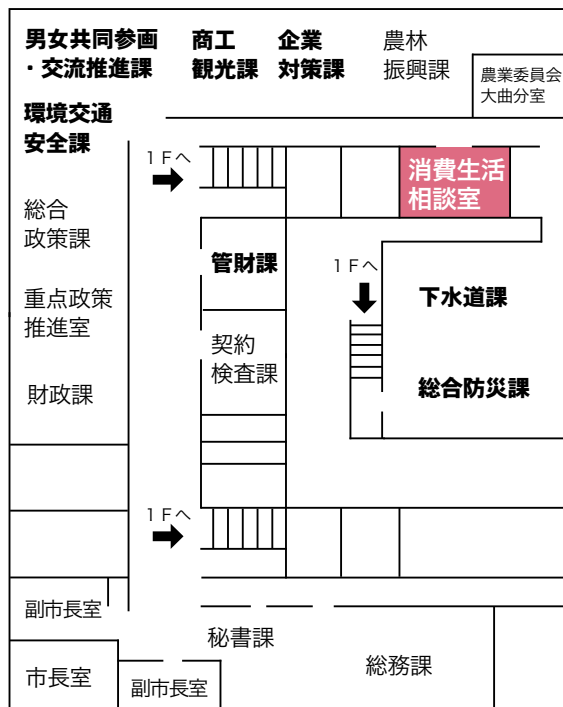
4月からの大曲庁舎案内図

機構改革により、4月から大曲庁舎で場所や課名が変わる課があります。ご確認ください。(太字が新設もしくは移設になった課)

大曲庁舎1階



大曲庁舎2階



【上下水道部】

水道事業と下水道事業の連携を強化し、一体的に推進するため、水道課・下水道課からなる「上下水道部」を新設しました。

下水道課は大曲南庁舎から水道局(大曲庁舎)の2階に移転し、相談等の窓口業務は1階で行います。

【教育委員会】

教育委員会を「教育指導部」と
「生涯学習部」の2部体制とします。

教育指導部は教育総務課と教育指導課（学校教育課の指導部門を強化）

の2課体制に、生涯学習部は生涯学習課と文化財保護課、スポーツ振興課（大曲図書館3階へ移設）の3課体制にします。

【農業委員会】

7月に東西の農業委員会を統合することにあわせ、4月から東西の農業委員会事務局を神岡庁舎1階に移転します(☎0187(72)4611)。分室は大曲庁舎に設置し、各支所では農林建設課が農業委員会業務を行います。

※企画部で変更はありません

【問い合わせ】

総務課

☎0187(63)1111(代表)

このような相談を受け付けます
お気軽に相談ください

- 悪質商法被害 ○多重債務
○製品事故被害 ○食品偽装被害
○振り込め詐欺被害 など

※消費生活相談室では電話による電話相談も受け付けます。直通電話番号が整備されるまでは代表電話（☎ 0187-63-1111）に問い合わせください。

消費生活トラブルの解決に
消費生活相談室を設置

これまで消費生活相談所（女性セ
ンター）や商業労政課で行ってきた
消費生活関係業務を1つの窓口に
集約・強化するため「消費生活相談
室」を大曲庁舎2階に新設。窓口業
務を強化し、市民の消費生活問題に
的確に対応します。

消費生活相談室では、悪質商法などによる契約トラブルや、商品・サービスなどの消費生活に関する相談を受け付け、問題解決のための助言等を行います。より専門的な相談機関がある場合は、その相談内容に合った窓口を紹介します。

また、消費者被害の未然防止のために、消費生活に関するさまざまな情報提供、消費者知識普及に努めます。



第23回秋田おばこ節 全国大会出場者募集

◆部門・出場資格

【大賞の部】プロ・アマ問わず
【熟年の部】平成23年6月5日現在で満70歳以上の方
【年少の部】中学生以下

※今まで優勝または最優秀賞を受賞された方は同じ部門への出場不可

◆日時／6月5日(日)

午前9時～午後5時

◆会場／大曲市民会館

◆定員

【大賞の部】120人

【熟年の部】50人

【年少の部】定員なし

◆参加費

【大賞の部・熟年の部】2000円

【年少の部】1000円

◆申込期限／4月20日(水)

◆問い合わせ・申し込み

秋田おばこ節全国大会
実行委員会事務局
(大曲市民会館内)

☎0187(63)8766

大仙市男女共同参画 審議会委員募集

「ともに輝く男女共同参画のまち」を目指し、委員として男女共同参画審議会に参加してくださる方を募集します。

男女共同参画について理解を深め、市民のみならず日常生活をつうじて、意見をいただくための会議です。

◆対象

①市内に在住または在勤している方

②20歳以上の方

③年2回程度の会議に参加できる方

④国、県、市の議員でない方

◆定員／3人程度

◆申込期限／

4月15日(金)まで

◆受付時間／

平日の午前9時～午後5時

◆任期／2年

◆問い合わせ・申し込み

男女共同参画・交流推進課
(大曲庁舎)

乳幼児・要介護者が いる世帯へ ごみ袋30枚を無料交付

乳幼児・要介護者がいる世帯の負担を軽減するため、燃やせるごみの袋30枚を年1回交付します。申請の受け付けは随時行っています。

※子どもが生まれた方には、出生届を提出した際に交付済み

【乳幼児がいる世帯】

対象／平成22年4月1日以降に生まれた子どもがいる世帯

交付期間／出生後2年間

持参するもの／母子手帳

【要介護者がいる世帯】

対象／要介護4～5と認定された方がいて、紙おむつを必要としている世帯

持参するもの／被保険者証、紙おむつ使用確認書

(ケアマネージャーの記名と認め印が必要)

【問い合わせ・申請】

各支所市民サービス課
環境交通安全課(大曲庁舎)

☎0187(63)2397

使用料の統一と 国の基準達成を目指し 下水道使用料の改定

今年の11月に下水道使用量の改定を予定しています。地域で異なる使用料の統一と、国の定める料金基準を満すことが目的です。

段階措置として、平成20年度に第1回改定を行い、今回が2回目となります。今後も急激な負担増とならないように段階的に実施します。

詳しい改定内容は、今後の広報等でお知らせします。

【問い合わせ】

下水道課(大曲庁舎)

大仙市内の遺跡展 新山遺跡／平安時代の 豪族居宅跡か

弘田柵総合案内所では、施設内の一部を利用し大仙市内の遺跡展を行っています。

発掘現場・作業の状況などのパネルや、遺跡から出土した

遺物の展示をご覧ください。

◆期間／4月1日(金)から11月30日(水)まで

◆時間／午前9時～午後4時

◆会場／弘田柵総合案内所

◆入場料／無料

【問い合わせ】

弘田柵総合案内所

☎0187(69)2397



新山遺跡から出土した
風字硯(すずり)の一部



新山遺跡は神岡
地域北植岡で発
見された、平安
時代から中世に
かけての遺跡で
す。遺跡の立地
や建物跡の特殊性、木簡・「風
」の字に似た形のすずり(風字
硯)・墨書土器などの出土から
役所の出先機関のような場所
であったと推定され、弘田柵跡
との結びつきが考えられます。

大仙市ホームページ
<http://www.city.daisen.akita.jp/>

information

機構改革により大曲庁舎で場所が変更になっている課があります。庁内の内線番号の変更が完了するまで、ご不便をおかけしますが、代表電話で担当部署名を告げ、呼び出しください。

大曲図書館 ボランティア募集

図書館ボランティアは4カ月児健診時に絵本のプレゼントをするブックスタート、図書館での絵本の読み聞かせ、古書の修理等を行っています。

あなたも図書館でボランティア活動をしてみませんか？

【問い合わせ・申し込み】

大曲図書館 ☎0187-62-1012



ブックスタートでの絵本読み聞かせ

災害情報を素早く伝達 全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入

（J-ALERT）を導入

導入したシステムは緊急地震速報や弾道ミサイル情報等、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を素早く伝達するシステムです。緊急情報を国（消防庁）が送信し、大仙市等の地方自治体へ通報、国から市民まで素早く伝達できます。

【J-ALERT（X）コミュニティ】

- ①素早く情報を伝達できます。国から市へ直接、1〜2秒で、市から市民に最短で30〜50秒
- ②衛星通信であるため24時間、年間をとおして運用できます。

【問い合わせ】

総合防災課（大曲庁舎）



携帯電話登録用
2次元バーコード

携帯電話やパソコンに
市防災メールが届く
「防災ネットだいせん」
に登録ください

【ホームページからの登録】

<http://www.city.daisen.akita.jp/>

組織案内→総合防災課→防災メール登録ページ



大仙市メンタルヘルス サポーター養成講座

心の健康づくりや自殺予防活動に関する基礎的な知識と技術を身につけ、ボランティアとして活動するサポーターを養成する講座です。

◆対象／市内に在住の20歳以上で、継続して養成講座に出席できる方

◆定員／先着30人

◆申し込み方法／健康増進センター、健康増進センター中央・東部・西部に用意してある申込用紙に、必要事項を記入の上、各健康増進センターに持参するか、郵送またはファクスで健康増進センターへ送信

◆申込期間／4月4日（月）から28日（木）まで（消印有効）

※受け付けは土・日・祝日を除く午前8時30分〜午後5時15分

◆養成講座期間／6月から10月まで（全6回、月1〜2回）

【問い合わせ・申し込み】

健康増進センター

☎0187（62）9301

FAX 0187（62）9302

〒014-0006

大曲栄町13-50

神岡総合情報センター パソコン教室



◆対象／市内に在住・在勤・在学している18歳以上で、パソコンによる文字入力のできる方

◆時間／午後2時〜4時

◆会場／神岡総合情報センター（神岡庁舎内）

◆定員／先着12人

◆申込受付開始／4月7日（木）から

※申し込みは2コースまで

【問い合わせ・申し込み】

神岡支所市民サービス課

コース名	期日	テキスト代
インターネット & Eメールの使い方	4/21（木）・28（木）	1,785円
ワードの基礎	4/15（金）・18（月）・20（水）・22（金）・25（月）・27（水）	2,100円
エクセルの基礎	5/10（火）・13（金）・17（火）・20（金）・24（火）・27（金）	2,100円
デジタルカメラ入門	5/11（水）・18（水）・25（水）	500円

豪雪による農業被害の 復旧支援について



県と市では、今冬の豪雪により被害を受けた農業施設（の復旧や果樹の枝折れ等の再生にかかる費用の一部を支援します。支援を希望する方は相談ください。

◆対象施設等／園芸用・菌茸用・水稻育苗用のパイプハウス、畜舎、りんご・ぶどう等の果樹など

◆対象者／農畜産物を販売する農業者（水稻育苗ハウスについては、米戸別所得補償モデル対策加入者）

◆支援割合／復旧にかかる費用全体の2分の1を県が、4分の1を市が負担（ただし、農業共済金が交付された場合はその分を減額）

【問い合わせ・申し込み】

農林振興課（大曲庁舎）
各支所農林建設課



被害を受け、復旧や再生の支援を希望する方は相談を

鈴 いつまでもお元気で 木ブンさんが100歳に

大曲地域の鈴木ブンさん＝大曲須和町＝が3月17日、100歳の誕生日を迎えられ、山王丸愛子副市長から長寿祝い金が手渡されました。

大曲地域の角間川に生まれた鈴木さん。19歳のときに夫・八郎治さん(故人)と結婚し、夫の仕事を手伝いながら2女を育てました。

現在は次女夫婦との3人暮らし。身の回りのことはなるべく自分でするように心がけています。昼前まで休んでいるため食事は朝と夕方の一日2回ですが、好き嫌いなく何でも食べる鈴木さん。「食べることが大好き。何を食べてもおいしい」とやさしい笑顔で話してくれました。



山王丸副市長と笑顔で握手をする鈴木さん(写真右)

各団体からの寄付・寄贈 たくさんの善意 ありがとうございます

新 秋田県トラック協会大曲仙北支部 入学児童ヘランドセルカバーを寄贈

財団法人秋田県トラック協会大曲仙北支部(加藤恵一支部長)から、新入学児童に黄色いランドセルカバーを寄贈いただきました。

4月から小学校に入学する児童に交通安全意識を高めてもらうとともに、ドライバーたちにも注意を促し安全運転を心がけてもらおうと贈られたもの。寄贈いただいたランドセルカバーは、市内全26校の新入学児童636人に贈られ、毎日の登下校時に活用されます。

希望にあふれた新しい学校生活が始まる新1年生。黄色いランドセルカバーが子どもたちを交通事故から守ります。ドライバーや地域のみなさんも子どもたちの安全をあたたく見守ってくださるようお願いします。



新入学児童636人に贈られる黄色いランドセルカバー

空 豊成中、豊岡小、豊川小の3校と地域で協力 空き缶回収の収益金を寄付

豊成中学校生徒会(小松翔太会長・生徒数84人)が3月7日、空き缶回収の収益金を市に寄付しました。

豊成中、豊岡小、豊川小の3校は、平成13年から空き缶回収事業を実施。児童生徒が家庭から空き缶を学校に集めているほか、月1回地域の事業所を訪問し空き缶を回収する「出張回収」を行っています。

集まった空き缶は、アルミ缶とスチール缶に分類して回収業者に販売。その収益金の寄付や収益金で購入した福祉用品の寄贈を行っています。

市役所を訪れた児童生徒を代表し、豊成中学生会長の小松翔太さんが「みんなで力を合わせて空き缶を集めました。高齢者福祉のために役立ててください」と栗林市長にメッセージを伝えました。

寄付金は、地域福祉振興基金に積み立てられ、市の高齢者福祉事業に活用させていただきます。



栗林市長へ寄付金を手渡す豊成中学生会長の小松翔太さん(写真中央)

①



写真①／サケの稚魚を放流する花館小6年生
写真②／誓いの言葉を述べる児童の代表

花 明日への希望を稚魚に託して 館のサケまつり

花館地区コミュニティ会議が地域づくりの一環として行っている「花館のサケまつり」が3月11日、玉川橋下流右岸河川敷で行われました。

サケまつりは3部構成で、サケの捕獲から飼育、放流までを一貫して児童たちに体験してもらうもの。放流は今年花館小を卒業した6年生児童(59人)が行いました。

代表児童12人が「サケのように、わたしたちも自分たちの夢に向かって、力強く一步を踏み出します」と誓いの言葉を述べた後、卒業生全員で約25,000匹の稚魚を放流しました。中には自分たちで育てた稚魚200匹も含まれていて、児童たちは体長約5センチほどの稚魚に自分たちの卒業を重ねながら、旅立ちを見送りました。

放流された稚魚は、児童たちが高校生になるころにふるさとの川へと帰ってきます。

平 地域への積極的な働きかけをしていこう 成 22年度第2回中学生サミット

平成22年度第2回中学生サミットが3月4日、中仙庁舎の旧議場で行われ、市内12中学校の生徒の代表やPTA連合会会員、小・中学校の教職員など50人が参加しました。

市内の中学生が「大仙“絆”プロジェクト」として取り組んできた、環境やボランティアに関することを行う「REVO・プロジェクト」や登下校の途中に地域住民に積極的にあいさつをする「あいさつプロジェクト」についての成果を報告。来年度も市内の中学生が、積極的に地域へ働きかけ、発信していこうと確認し合いました。

このほか、小・中学校連携によるあいさつ運動や中学生による除雪ボランティアの活躍なども報告されました。



活発な意見交換が行われた中学生サミットの様子



写真①・②／読み聞かせの様子
たくさんの笑顔を見せてくれた子どもたち
写真③／絵本ライブをする安藤さん(写真右)



パ パパたちの活動で東北の子どもたちを喜ばせてほしい パ's絵本ライブ

パパ's絵本ライブが3月19日、大花都市再生住宅内にある地域子育て拠点施設「まるこのひろば」で行われ親子15組45人が参加しました。

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也さんを講師に迎えて行われたイベント。第1部の「絵本ライブ」では、「父親を楽しもう！～パパだって読み聞かせ～」と題し安藤さんが講演。「地域のパパとつながることは、子育ての幅を広げるし、そのつながりは災害時にも生きる。今こそ家族との時間を大事にしたり、地域の絆をつくったりすることが大切」などと話しました。その後、安藤さんが子どもと会話をしながら絵本を読んだほか、ギターを手にして歌いながら絵本ライブを行いました。また、イベントには東日本大震災被災地からの避難者も参加。「東北には残された子どもたちがたくさんいる。パパさんたちの活動で東北の子どもたちを喜ばせてあげてください」との声がありました。

第2部の「安藤パパと大仙パパの作戦会議」では、子育てで心がけていることなどについてトーク。参加者は「今日から発揮したいパパ力」を宣言し、子育てで父親の力を発揮しようと参加者同士で思いを一つにしました。



おおきなせなかに お便り広場

3月号・3月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは **24** 通

内訳／ 感想 22 意見 2

4 月からヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが無料接種となることは本当にありがたいです。受けたい、子どもを守りたいと思っても接種費用が高く悩んでいたのうれしいです。

(太田地域 37歳女性)

ヒ ブと小児用肺炎球菌ワクチンの接種が4月から無料になるとのこと、とてもありがたいです。

(太田地域 30歳女性)

ヒ ブと小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種が載っていました。4月になったらぜひ受けたいと思っています。

(太田地域 32歳女性)

健康増進センターから

3月号お知らせ版でもお知らせしましたが、国内でヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンを含む複数のワクチン接種による死亡例が報告されています。

厚生労働省からの「接種一時見合わせ」の公表を受け、市では今後、両ワクチンの接種を一時見合わせます。詳細は、健康増進センターへ問い合わせください。

【問い合わせ】健康増進センター

☎0187(62)9301

雪 国秋田ならではの伝統行事。毎年、孫と一緒に「川を渡るぼんでん」を見に行っています。川面に赤、黄、緑などのぼんでんが写る姿が美しく、素晴らしいですね。

(大曲地域 56歳女性)

ひ な壇をバックにした8人の園児の笑顔。特に目が輝いていて、だいせん日和の表紙に最適な写真だと思います。

(太田地域 62歳男性)

市 民との架け橋である広報紙が県代表として5年連続全国広報コンクールへ推薦されることを喜んでいきます。毎号の紙面作りのために、今の話題を追いかけるために市内を飛び回っている担当者の方々、ご苦労さまです。今後も、市民と行政の対話ができる広報を目指し、紙面いっぱい情報を届けてください。

(大曲地域 68歳男性)

雪 に埋もれた今冬、屋根の雪も解け、春がそこまで来ているようです。厳しい寒さの中、外に出る機会も減るばかりですが、広報で冬の行事を堪能させていただきました。

(大曲地域 88歳男性)

ワ ンデイエコチャレンジの参加者のうち、約80%が小中学生、高校生のみなさんとあって、子どもたちへの期待が大きいくくらみです。

「塵も積もれば山となる」。この格言が今こそ生きてくる時だと思えます。ドライブ中は私もエコを心がけています。

(西仙北地域 60歳女性)

写 真の美しさと文字の大きさが感じられます。広報コンクール県代表もスタッフの技術力のたまものと思います。ますますの活躍を期待しています。

市役所からのお知らせやレシビ、健康の達人、読者プレゼントなどが読者を引きつけてくれます。

(大曲地域 57歳女性)

だ いせんの冬景色の迫力が素晴らしく、全部読み切りました。どの行事にも行つたことがありませんが、来年は行つてみたいと思いました。

(神岡地域 64歳女性)

だ いせんの冬景色を見て行事の迫力や真剣な心が伝わり、何回も読み返しました。

(神岡地域 60歳女性)

市 内の情報を知ることができ、たいへん役立っています。3月19日は私の誕生日。新作花火コレクションにぜひ行きたいと思っています。

(中仙地域 45歳女性)

新作花火コレクション2011 延期について

3月19日に開催予定だった新作花火コレクションは、東日本大震災のため延期となりました。延期後の開催日程等については、大曲花火倶楽部のホームページでお知らせします。

【問い合わせ】大曲花火倶楽部

☎0187(62)6887

www.geocities.co.jp/Heartland-Oak/4943

道 の駅なかせんの「農家レストラン」がとても気になっていました。同じ農家として、農業をしながらレストランも経営するなんてすごいと思います。

農家だからこそ素材の良さ、どうやって食べるとおいしいのかなどがよく分かつと思うし、自分が手をかけて育てた食材には特別な思いがあるはず。農家のよさを感じられるレストランだと、とてもうれしく思います。

(太田地域 35歳女性)

9

小山内愛美 日本画展

自然の生命力を描いた日本画展。
大自然を生き抜くものたちの姿を
描いた「生命の息吹き」が感じられる
30点以上の作品を展示。

市内在住で日本画家として活動
する小山内さんの作品をご覧ください。

4/5火 ▶ 17日

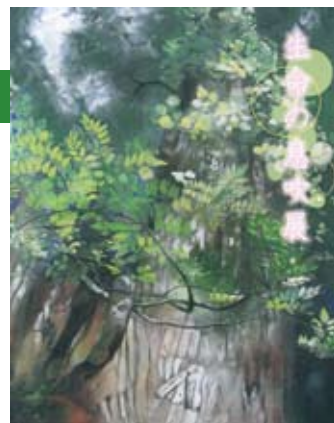
※11日は休館日

※9、10、16、17日は作家在廊日

時間／10：00～17：00

会場／中仙市民会館（ドンパル）

入場無料



全 国広報コンクールへのだ
いせん日和5度目の県代
表、おめでとうございます。3月
号を手にした途端、飛び込んだき
た表紙の子どもたちの笑顔。額に
入れて飾りたいぐらいです。

健康の達人では、普段聞くこ
とのできない専門医師のお話が
分かりやすく説明されているの
で毎回必ず読んでいます。

（大曲地域 52歳女性）

目 次があまりにも大ざっぱ
すぎます。例えば市からの
お知らせについては6ページとあ
りますが、目次に書かれている西
仙北インターチェンジの記事は
9ページに記載されています。こ
れでは目次の意味がありません。

（神岡地域 45歳女性）

写 真で見た弘田柵の冬まつ
りの「蝦夷ほたる」がとて
も幻想的でした。冬は寒いので見
に行くことがなかったのですが、
来年は娘と一緒に蝦夷ほたるづ
くりに参加したいと思っています。

（仙北地域 35歳女性）

広 報を見ると市内の行事や
出来事を知ることができ
るので、なかなか外出できない高
齢者には大変参考になります。

狭いスペースでしようが、できる
ことならば行政用語などに注釈
をつけてもらえれば助かります。

設置が義務化される住宅火災
警報機の取り付け方法や取り付
け場所などを載せてもらえれば
助かります。

（大曲地域 63歳男性）

へ ルスメイトさんのレシピ
は、とても簡単でおいし
いです。材料も手軽に準備でき
るので、また試してみようと思
います。

（神岡地域 52歳女性）

広 報だいせん日和が県の代
表として5年連続で全国
コンクールの県代表に選ばれた
ことは、とても嬉しく思います。

最近では、市町村の財政状況
の悪化を理由に広報紙の発行回
数を減らしたり、発行をやめた
りしているところもあります。

だいせん日和はページ数を減ら
してでも続けてほしいです。住
民と行政のキャッチボールを
ずっと続けていってください。

（大曲地域 53歳男性）

地域の耳 寄り情報

4月20日オープン

旬な野菜などを販売します 大曲花火通り産直市

新鮮な野菜、手作り加工品など
を各種とりそろえています。ぜひ
お越しください。

◆期日／4月20日からの毎週水曜日

◆時間／午前10時30分～
午後1時30分

◆会場／ペアーレ大仙駐車場

【問い合わせ】

農林振興課 ☎0187-63-1111
内線244

新鮮な野菜
などとり
そろえ、みな
さんのお越
しをお待ち
しています



入賞・入選作品も展示されます 八乙女カメラクラブ写真展

会員の自由作品や各種写真展で
の入賞・入選作品を展示します。

◆期間／4月17日(日)から

5月8日(日)まで

◆時間／午前9時～午後6時

※最終日は午後5時で終了

◆会場／道の駅なかせん「こめこ
めプラザ」

【問い合わせ】

八乙女カメラクラブ 山崎さん
☎0187-57-2099

お便りお待ちしております

「お便り広場」はみなさんのページです。
市政に対する質問・意見など、
みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。
あて先はこちら

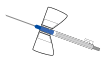
〒014-8601（住所不要）大仙市企画部総合政策課

手紙・ハガキ、FAX（0187-63-1119）

またはEメール（kouhou@city.daisen.akita.jp）で送って
ください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」
と記入ください。



医療廃棄物の処理の仕方



医療機関に返却するもの／注射針、針付きのチューブ類など
(血液が残っている部分を切り取り、血液が付着していない部分は燃やせるごみへ)

市で収集・処理するもの (燃やせるごみ)／注射筒、バック類、チューブ類、ガーゼ、脱脂綿、紙おむつなど

燃やせるごみへの出し方／容器などに残った液は捨て、汚れがひどい場合は水ですすいでください。(汚物はトイレで流す)
燃やせる在宅医療廃棄物を透明なビニール袋などに入れ、一般ごみと一緒に燃やせるごみ袋に入れてください。

燃やせるごみとして出せるものの例

注射筒など 注射筒 (ペン型自己注射カートリッジ)、経管栄養などの注入器	 針が付いていないもの
バック類 輸液・蓄尿・ストーマ・CAPD・栄養剤の各種バック	
チューブ類 吸引チューブ、輸液ライン、CAPDチューブなど各種チューブ	 針が付いていないもの

安全に収集や運搬ができるよう、詳しくは主治医の先生や市役所環境交通安全課環境班 (☎ 0187-63-1111 代表) に問い合わせください。

秋 田県では、65歳以上の老年人口が28・4%と全国第2位であり、それに伴い、在宅で医療を受ける高齢者の方が増えています。入院期間の短縮や各種在宅自己医療の普及、介護保険制度の充実により、訪問診療や訪問介護による在宅医療を受ける方が、今後一層増えると考えられます。在宅医療や介護を行う場合は家庭で廃棄物が生じます。注射針等の鋭利な刃物など危険なもの以外にも、栄養バックや尿バック、各種チューブ類やガーゼ類が排出されます。環境省では、在宅医療廃棄物は注射針など取り扱いに注意が必要な鋭利なものは受け取った医療機関に返却し、医療機関で感染性廃棄物として処理すること、針以外の鋭利でないものは一般廃棄物として市町村が収集、運搬し、処分すること最も望ましいとしています。全国では能代市や名古屋市

などはこの在宅医療廃棄物の排出ルールに従って安全に処分しています。大仙市の家庭ごみを焼却する大仙美郷クリーンセンターでも、非鋭利な在宅医療廃棄物の受け入れを実施しています。みなさんに廃棄物、感染予防などについて正しく理解していただくことで、在宅医療を受けている方やその家族が住みやすいまちづくりができるよう、ご協力をお願いします。

などはこの在宅医療廃棄物の排出ルールに従って安全に処分しています。大仙市の家庭ごみを焼却する大仙美郷クリーンセンターでも、非鋭利な在宅医療廃棄物の受け入れを実施しています。みなさんに廃棄物、感染予防などについて正しく理解していただくことで、在宅医療を受けている方やその家族が住みやすいまちづくりができるよう、ご協力をお願いします。



大曲仙北医師会

雁の里 仙南診療所

照井 哲 院長

美郷町金沢西根上糠渕 31-1
☎ 0187-87-8500

～健やかに暮らせるまちづくり～

在宅医療廃棄物処理について

Talk about Home medical care waste



Medical Chart no. 46

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of HEALTHY.

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/i/>

健康通信

問い合わせは各健康増進センターへ

健康増進センター

中央(大曲保健センター内/大曲地域)

西部(西仙北庁舎内/神岡・西仙北・協和・南地域)

東部(中仙庁舎内/中仙・仙北・太田地域)

☎ 0187-62-9301

☎ 0187-62-1015

☎ 0187-75-0476

☎ 0187-56-7211



4月は「秋田県はしか排除推進月間」 麻しん風しん混合予防接種(MR)

麻しん(はしか)は、伝染しやすく重い病気で、かかった人の中には、脳炎などの重い合併症を起こす場合があります。また、予防接種を受けずにはしかにかかった場合、数千人に1人の割合で死亡することもあります。しかし、ワクチンを2回接種することで、ほぼ全員がはしかにかからずに済みます。

接種は4月から6月までの間に受けることが望ましいとされていますので、早めの接種をお勧めします。

平成23年度の接種対象者／

【第1期】生後12カ月～24カ月未満児

(満1歳になったら早めに接種しましょう)

【第2期】平成17年4月2日～18年4月1日生まれ

(小学校入学前の1年間)

【第3期】平成10年4月2日～11年4月1日生まれ

(中学1年生相当の年齢)

【第4期】平成5年4月2日～6年4月1日生まれ

(高校3年生相当の年齢)

接種期間(2・3・4期)／

4月1日から平成24年3月31日まで

接種費用／無料

※第2、3期の方には、幼稚園・保育所、学校などをとおしてお知らせ通知と予診票を配布します。また、第4期の方には、個人へ直接通知します。4月初めにそれぞれ配布予定です。



接種開始が遅れる場合があります 子宮頸がん予防ワクチン接種について

市では、4月1日からの「子宮頸がん予防ワクチン無料接種」開始に向けて準備を進めてきました。しかし、全国的に一斉に接種が開始されたことから、急速な需要の増大にワクチンの生産が追いつかず、現在、ワクチンが供給不足の状況です。また、初回接種から6カ月以内に残り2回の接種が必要なため、すでに初回接種をした方を優先して接種を行っています。

これらのことから、ワクチンが供給されず市の実施時期が7月ごろの見通しとなっています。接種開始が遅れ、みなさんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、接種にあたっては医療機関に予約の上、接種例を参考に接種してください。

対象／市内在住の中学1年から高校3年相当の年齢の女子

接種回数／6カ月以内に3回(①初回→②初回から1カ月後→③初回から6カ月後)

※ワクチンは3回接種しないと十分な効果が得られません。

接種例／

7月(1回目)8月(2回目)1月(3回目)

8月(1回目)9月(2回目)2月(3回目)

※子どもの体調が良いときに接種しましょう。

接種費用／無料

各健診(検診)について

	種類	対象	自己負担額
特定健診と 一緒に受けられる健診(検診)	後期高齢者健診	健診受け付け当日に満75歳以上の方	無料
	生活機能評価	65歳以上の方	
	結核検診	65歳以上の方	
	血液健診	30・35歳の方	1,000円
	肝炎ウイルス検診	40歳の方	700円
	肺がん検診	40～64歳の方	400円
特定健診と別日程の検診	大腸がん検診	40歳以上の方	600円
	前立腺がん検診	50歳以上の男性	500円
	胃がん検診	40歳以上の方	1,200円
	婦人科検診	20歳以上40歳未満の女性、40歳以上で偶数の年齢の女性	1,800円
	乳がん検診	40歳以上の偶数年齢の方	1,800円
	骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	1,000円

※23年度内に70歳になる方は、対象となっている各検診が無料になります。積極的に受診しましょう。

最寄りの会場で受診できない場合は、健診(検診)期間中であれば市内のどの会場でも受診できます。

自己負担料金

持参するもの／

健診通知書(ピンク色の紙)、保険証、

「健診(検診)を申し込んだ方へ」
検診の日程にあわせて「各種健診(検診)通知書」と「各種健診(検診)お知らせ」・「健診(検診)日程表」を世帯ごとに配布します。健診(検診)を受診する前に、必ず確認ください。また、検査のための容器なども紛失しないよう保管してください。

①40歳～74歳の国民健康保険加入者
②社会保険加入者で、特定健診受診券と保険証をお持ちの方
※事前に社会保険者からの受診券をご用意ください。

4月から9月までに特定健診・各種がん検診を実施します。
自分の健康チェックと生活習慣を見直す良い機会になります。市の健診(検診)をご利用ください。

「新たに健診(検診)を希望される方へ」
申し込みを忘れた方・転入された方など、検診の申し込みを希望される方や「各種健診(検診)お知らせ」・「検診日程表」の必要な方は、該当する地域の健康増進センターへ連絡ください。

Check!!



年に一度の健康チェック
平成23年度特定健診・各種がん検診が始まります

中仙図書館のおすすめ



米粉ランチ
パスタに、チヂミに、
どんぶりになる米粉のレシピ 40
(中仙図書館所蔵あり)

サカイ優佳子・田平恵美／著
(農山漁村文化協会)

世界的に穀物価格が上昇する中、小麦粉の代用として米を粉にした「米粉」が注目を集めています。

中仙地域では、米粉麺と杜仲豚を使用した「中仙ドンパン焼きそば」が誕生。さっぱり塩味と米粉ならではの「もっちり」とした食感で好評を得ています。

この本は、トルティーヤやならぬ米ティーやや蒸しパン、お好み焼きなど、生地を寝かせる必要がなく、ダマにもなりにくい40種類のお手軽ランチレシピを集めた内容となっています。ご覧になり、ぜひお試しください。

新着図書

ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。
 希望する本がなかった場合は、図書館職員へ声を掛けてください。
 市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

小説・一般向け図書

- 徹子ザ・ベスト／黒柳徹子
- 子家庭の身代金／赤川次郎
- うからはらから／阿川佐和子
- 人質の朗読会／小川洋子
- いとま申して／北村薫
- やわらかなレタス／江國香織
- 本日は大安なり／辻村深月
- ばんば憑き／宮部みゆき
- 麒麟の翼／東野圭吾
- ハニーズと八つの秘めごと／井上荒野
- ぼくから遠く離れて／辻仁成
- 冥府小町／澤田ふじ子
- カササギたちの四季／道尾秀介
- 無花果の実のなるころに／西條奈加
- 華麗なる欺き／新堂冬樹

幼児・児童向け図書

- まちのいぬといなかのかえる／ジョン・J. ミュース
- ほんなんてだいぐらい！／マイケル・エンバリー
- くるまかします／鈴木まもる
- エラのがくげいかい／ステイブ・ダミコ
- おにもつはいけん／梶山俊夫

■ 各図書館イベント／

【おはなし会】

仙北 4月9日・23日(土) 午前10時30分～
 協和 4月16日(土) 午前10時～
 神岡 4月16日(土) 午前11時～
 西仙北 4月23日(土) 午前10時～11時

【どんぐり文庫 おはなし会】

太田(敬愛館) 4月23日(土) 午前9時30分～11時

■ 企画展「わたしのおすすめ本コーナー」

期間／4月2日(土) から30日(土) まで

時間／午前9時～午後7時

会場／大曲図書館

■ 各図書館休館日／【4月】▼1日＝大曲、神岡、南外、太田▼4日＝中仙、仙北▼6日＝西仙北▼25日＝協和 【5月】▼2日＝大曲、神岡、中仙、南外、仙北、太田▼6日＝西仙北▼30日＝協和

各図書館問い合わせ

大曲図書館 ☎ 0187-62-1012	南外図書館 ☎ 0187-74-2130
神岡図書館 ☎ 0187-72-2501	仙北図書館 ☎ 0187-69-3334
西仙北図書館 ☎ 0187-75-0099	太田図書館 ☎ 0187-88-1119
協和図書館 ☎ 018-892-3830	中仙図書館 ☎ 0187-56-7200

4月の市長日程

※日程は変更になる場合があります。

1日・金	年度初めの式
4日・月	定例記者会見
8日・金	介護認定審査会総会
26日・火	秋田県市長会(由利本荘市)

市長交際費

(2月1日～28日)

摘要	件数	金額
弔慰	6	60,000円
慶祝	13	94,550円
協賛	4	115,193円
合計	23	269,743円



写真①／花館のサケまつりで、花館小の児童と一緒にサケの稚魚を放流する栗林市長

写真②／東日本大震災の被害状況を確認する栗林市長

写真③／大曲庁舎前で行われた給水に訪れた市民に市の対応状況を説明する栗林市長

写真④／大曲消防署員と市内の被害状況などの確認をする栗林市長



高齢者支援の「総合相談窓口」 地域包括支援センターを利用ください

地域包括支援センターは、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるように支援する「総合相談窓口」です。

地域包括支援センター中央（大曲庁舎）・東部（中仙庁舎）・西部（西仙北庁舎）・南部（社会福祉協議会本所・協和（社会福祉協議会協和支所）の5カ所があり、介護・福祉・医療・や介護予防など高齢者や家族からのさまざまな相談に対応しています。

れた方のうち、介護予防サービスの利用を希望する方に介護予防プランを作成します。

④介護予防事業／集団検診時に「生活していく上での身体機能」などをチェックし「介護状態になる可能性が高い方」を把握し、その方々を対象とした介護予防のための事業やすべての高齢者を対象として介護予防の大切さを知っていただくための教室などを行っています。

- ①総合相談支援／介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関する相談にも対応します。「どこに相談するのかわからない」といった悩みも、まずはご相談ください。内容に応じて、適切なサービスや機関、制度の利用につなげます。
- ②権利擁護・高齢者虐待防止／高齢者が、認知症などで消費者被害を受けられないように成年後見制度への利用支援を行います。また、身体的・精神的虐待など、高齢者虐待への対応もしています。
- ③介護予防ケアマネジメント／要介護認定で、要支援1か2に認定さ



地域包括支援センターでは高齢者の方々が、地域でいきいきと暮らすことができるよう、さまざまな支援を行っています。お気軽に相談ください。

各地域包括支援センターをご利用ください

中央（大曲庁舎／大曲・四ツ屋・花館地区）
☎ 0187-63-1111 内線 169
東部（中仙庁舎／中仙・仙北・太田）
☎ 0187-56-7125

西部（西仙北庁舎／神岡・西仙北・南外）
☎ 0187-87-3970
協和（社会福祉協議会協和支所／協和）
☎ 018-892-3838

南部（社会福祉協議会本所／大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区）
☎ 0187-88-8030

介護保険事務所からの お知らせ

介護保険料が年金から特別徴収（天引き）されているみなさんへ 介護保険料の仮徴収について

仮徴収			本徴収		
4月	6月	8月	10月	12月	2月
今年2月の保険料と同額が特別徴収（天引き）されます。	前年度の年額をもとに仮徴収（4月から8月分）が年額の約半分となるように計算した額が特別徴収（天引き）されます。		7月に確定となった保険料額と仮徴収の額を差し引きした額をもとに決定されます。確定保険料と10月以降の特別徴収額（天引き）は7月上旬にお知らせします。なお、仮徴収で年間保険料よりも多く支払った場合は、後日差額をお返しします。		

介 護保険料が年金から特別徴収（天引き）されている方々には、4月・6月・8月・10月・12月・2月の年6回に分けて、その年の介護保険料を納めていただいています。

介護保険料は住民税の課税状況等によってその年度に納める金額が決まります。住民税は6月に決定となるため、介護保険料の年額の確定は7月になります。

そのため、4月・6月・8月は確定した保険料での徴収ができまので、前年度の年額をもとにした仮の保険料での徴収となります。このことを「仮徴収」といいます。

仮徴収する金額が平成23年2月の年金から天引きした金額と異なる方と4月から天引きが始まる方には金額のお知らせを送付させていただきます。（23年2月の天引き額と変わらない方には送付されません）

65歳以上で、介護保険料が年金から特別徴収（天引き）されていない方については年額の決定後、7月中旬に送付される納付書で納めることとなります。（口座振替を申し込んでいる方は口座から引き落としになります）

【問い合わせ】

介護保険事務所保険指導班
☎ 0187（86）39111
社会福祉課高齢者支援班
☎ 0187（63）11111
各支所市民サービス課

フラワーデザインを学びませんか 市民フラワーデザイン講座

- ◆日時／4月13日、27日
午後5時～7時※毎月第2・第4水曜日
- ◆会場／はびねす大仙(幸町)
- ◆受講料／無料(別途材料代1,500円)
- 【問い合わせ・申し込み】
NPO法人フラワーデザイン普及協会
栗林さん ☎090-2270-6644

「アロハ・オエ」の踊りを覚えよう はびねすフラ

- ◆期日／5月12日から6月2日までの毎週木曜日(全4回)
- ◆時間／①午後2時～4時
②午後7時～9時(2コース)
- ◆会場／はびねす大仙(幸町)
- ◆受講料／無料(各回資料代500円)
- 【問い合わせ・申し込み】
はびねす大仙 ☎0187-88-8722

第5回EM(有用微生物)による 生ごみ堆肥化勉強会

- 「有用微生物」を活用したEM生ごみの堆肥化と自然農法菜園を学びます。
- ◆日時／4月16日(土)午前9時～正午
 - ◆会場／女性センター
 - ◆定員／30人
 - ◆参加費／500円(材料費)
 - ◆講師／川辺公雄さん(自然農法菜園アドバイザー)
 - 【問い合わせ・申し込み】
大仙市EMによる環境浄化研究会
太田さん ☎0187-63-6080(ファクス兼)

テーマは「難聴の克服に向けて」 聞こえのシンポジウム

- 秋田大学病院人工内耳手術者の会「かたらいの会」では、専門医師4人による公開講座を行います。
※当日は手話通訳、要約筆記、磁気誘電ループを用意します。
- ◆日時／4月17日(日)午後2時～5時
 - ◆会場／横手市ふれあいセンターかまくら館
 - 【問い合わせ】
かたらいの会 草皆茂樹さん
☎018-852-2047

オリジナルブローチを作りませんか リボン刺しゅう教室参加者募集

- ◆期日／4月27日(水)、5月11日(水)、5月25日(水)、6月8日(水)
- ◆時間／午後1時30分～3時30分
- ◆受講料／無料(別途、材料費2,500円※2個制作分)
- ◆申込期限／4月15日(金)
- ◆定員／25人
- 【問い合わせ・申し込み】
サンクエスト大曲 ☎0187-63-5572

Course 講習

親子で楽しく健康づくり 親子体力増進指導教室

- ◆対象／就学前(3～5歳)の幼児と母親
- ◆期日／毎週水曜日(初回は4月20日)
- ◆時間／午後2時10分～、午後3時10分～
- ◆会場／花園児童センター
- ◆定員／親子30組
- ◆保険料／600円(母親は任意加入)
- ◆申込期間／4月3日(日)から7日(木)までの午後1時30分～5時
- 【問い合わせ・申し込み】
花園児童センター ☎0187-63-7666

ひとり親家庭を対象とした 経理事務講習会

- 経理事務の基礎を学んで就職・転職条件を有利にし、生活の向上を図ることを目的とした講習会です。
- ◆対象／県内在住の母子家庭の母、寡婦、または父子家庭の父
 - ◆受講期日／5月21日から9月10日までの毎週土曜日
 - ◆時間／午前10時～午後3時
 - ◆会場／秋田県ひとり親家庭就業・自立支援センター(秋田県社会福祉会館内)
 - ◆定員／20人
 - ◆受講料／無料(別途テキスト代2,520円)
 - ◆申込期限／5月10日(火)午後3時
 - 【問い合わせ・申し込み】
秋田県ひとり親家庭就業・自立支援センター ☎018-896-1531

Invitation 募集

乗馬スポーツ少年団 団員を募集

馬とのふれあいで得られる人間性や乗馬によるバランス感覚の向上などを図りながらスポーツとして乗馬を楽しむほか、馬術競技選手の育成を行います。

体験会も行いますので、興味のある方はぜひお越しください。

【乗馬スポーツ少年団の活動】

- 対象／県内の小学4年から中学3年までの方
- 活動期間／4月から11月まで
- 活動日・時間／【水曜日】午後6時～8時【土曜日】午後2時～5時
※イベント等により活動できない日を除く
- 活動場所／ちっちゃいもの倶楽部(太田町横沢堤田503-2)
- 定員／15人(各学年2～3人)
※水曜日は5人、土曜日は10人
- 活動費／年額30,000円(別途スポーツ少年団保険料)
- 活動内容／乗馬、厩舎作業など
- その他／ヘルメット、キュロット、長靴(25,000円程度)は個人で用意
- 【体験会】

- 日時／4月3日(日)午後1時30分～3時(当日都合が悪いという方は個別に対応しますので相談ください)
- 会場／ちっちゃいもの倶楽部
- 内容／活動全般の体験と説明
- 参加費／300円(傷害保険料)
- 【問い合わせ・申し込み】
乗馬スポーツ少年団事務局
男鹿さん ☎0187-88-2268

大曲太極拳同好会 無料体験参加者募集

- ◆期日／5月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)
- ◆時間／午前10時～正午
- ◆会場／サンクエスト大曲
- ◆講師／小西チヨさん
- 【問い合わせ】
サンクエスト大曲 ☎0187-63-5572

被災地の復興のために
みなさんのあたたかい心を

みんなの願い、思いを今こそ一つに 東日本大震災の義援金にご協力をお願いします

大仙市共同募金会では、「全国災害たすけあい」として、被災者の方々のための災害義援金を募集します。

被災された方々の一日も早い復興のため、みなさんのご協力をお願いします。

なお、義援金は中央共同募金会を通じて被災地域に届けられます。

義援金の受け付け先／
大仙市社会福祉協議会本所、
大仙市社会福祉協議会各支所

【問い合わせ】

大仙市社会福祉協議会本所
☎ 0187-63-0277

4月はこの地域です 電気設備定期調査

【大曲地域】開谷地、下深井

【神岡地域】福島、蒲

【西仙北地域】小杉山、鳥井野、辰ノ口、金山沢、上野台

【問い合わせ】

東北電気保安協会大曲事業所
☎ 0187-63-4940

不動産鑑定評価の日 不動産に関する無料相談会

地価公示などの標準価格、不動産の価格、相続、税に関することについての無料相談会です。

◆日時／4月13日(水)

午後1時30分～4時30分

◆会場／市役所大曲庁舎市民ホール

【問い合わせ】

相馬不動産鑑定事務所
☎ 0187-66-1755

戦没者を慰霊するため 平成23年度慰霊巡礼

厚生労働省では、遺族を対象とした慰霊巡礼を行っています。詳細は問い合わせください。

◆実施地域／旧ソ連、モンゴル、中国、パラオ、インドネシア、ピスマーク・ソロモン諸島、東部ニューギニア、フィリピン、硫黄島

【問い合わせ】

県福祉政策課保護・援護班
☎ 018-860-1319

4月6日から12日までは 新入学(園)期の交通安全運動

4月6日から12日までは「新入学(園)期の交通安全運動」期間です。

子どもの事故は「飛び出し」が最大要因。交通ルールを守り、交通事故をなくしましょう。

【ドライバーのみなさんへ】

- 駐車車両のかけからの飛び出し
- 交差点での飛び出し
- 走行車両の直前・直後の横断
- チャイルドシートは体に合ったものを正しく取り付けましょう。

【歩行者のみなさんへ】

- 横断歩道を渡りましょう。
- 斜め横断はやめましょう。
- 道路の横断前は、しっかり右、左、右の確認をしましょう。横断中、道路中央では、再度左側を確認しましょう。
- 夕暮れ時や夜間は、明るい服装、反射材を着用しましょう。

【問い合わせ】

県生活環境部県民文化政策課
☎ 018-860-1523



交通事故のない誰もが安全・安心なまちを目指し、ドライバーも歩行者もみんなを守るう交通ルール

お知らせ Information

あきた子育てふれあいカード ガイドブックの更新

中学生以下の子どもまたは妊婦のいる家庭に配布され、協賛店で提示すると、そのお店が設定した優待サービスを受けられる「ふれあいカード」の新しいガイドブックができました。大きさが持ち運びに便利なA5サイズになり、最新の協賛店も載っています。

新しいガイドブックは、小学校・保育所・幼稚園をつうじて配布します。未就園児や中学生の子どもがいる世帯の方で、持っていない方は、各支所市民サービス課、児童家庭課窓口にて用意してありますので、ご利用ください。

◆対象／中学生以下の子ども、または妊婦のいる家庭

※対象世帯でカードを持っていない方は、各支所市民サービス課、児童家庭課窓口でカードを交付していますので、申し込みください。

【問い合わせ・申し込み】

各支所市民サービス課
児童家庭課 ☎ 0187-63-1111内線102



提示するとお得なサービスを受けられる「ふれあいカード」

お気軽に相談ください 無料法律相談

相談には予約が必要です。一人で悩まず、どんなことでもお気軽に相談ください。

◆日時／4月14日(木)

午前10時～午後3時

◆会場／大仙市社会福祉協議会本所

◆定員／先着8人

◆申込期限／4月12日(火)

◆相談員／草薙秀樹さん(弁護士)

【問い合わせ】

大仙市社会福祉協議会本所
☎ 0187-63-0277

EVENTS INFO.

4月の子育てイベント情報



未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。
※神岡と西仙北、中仙、南外、太田では4月の実施がありません。

【問い合わせ】各地域子育て支援センター

大曲 ☎0187-62-5733 協和 ☎018-892-3426
神岡 ☎0187-72-2244 南外 ☎0187-73-1088
西仙北 ☎0187-87-7130 仙北 ☎0187-63-1143
中仙 ☎0187-56-4139 太田 ☎0187-86-9110

地域	月日	開催場所	事業名	申込期限
大曲	14日(木) 10:00～	サンクエスト	みんなであそぼう	12日(火)
	21日(木) 10:00～	大曲交流センター	こいのぼりまつり	19日(火)
	28日(木) 10:00～	サンクエスト	おかあさんとあそぼう	26日(火)
協和	6日(水) 10:00～	協和保育園	一緒に遊ぼう！	5日(火)
仙北	20日(水) 9:30～	仙北南保育園	おともだちみつけた！	15日(金)
	27日(水) 9:30～		作って遊ぼう！こいのぼり	22日(金)

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

4月のまるこのひろば

都市再生住宅1階の子育て支援拠点施設と高齢者生活相談所で各種イベントを行います。

【問い合わせ】まるこのひろば

高齢者＝☎0187-63-2544 子育て＝☎0187-63-2344

日時	子育て支援拠点施設	高齢者生活相談所
16日(土) 13:30～	歌と認知症講座と年間行事計画説明 (認知症を知り、歌ってスッキリ年間の予定を構想しよう)	
21日(木) 13:30～	いっしょに遊ぼう (親子でみんな交流を)	【随時】 高齢者の生活相談
25日(月) 10:30～	誕生会(4月生まれの子)	

※体操教室…毎週月曜日(祝日除く)

①午前10時～②午後1時30分～

「みんなで歌おう」の集い…毎月第3土曜日午後1時30分～

まるこの広場では子育ての悩み相談を電話で受け付けています。お気軽に相談ください。

子育ての悩みご相談ください
まるこ電話相談
0187-63-4166
午前10時～午後4時(水曜休館)

大仙市の行事予定

4月1日 金 ～20日 水

4/1 金	秋田県議会議員一般選挙告示 大仙市の遺跡展・新山遺跡(～11月30日) ■午前9時～■松田総合案内所(無料) ▶P.8
2 土	秋田県議会議員一般選挙期日前投票(～9日) ■午前8時30分～午後8時 ■大曲・西仙北・中仙・協和・南外の各庁舎、神岡福祉センター、仙北就業改善センター、太田農村環境改善センター
3 日	大仙美郷クリーンセンター休日開場日 ■午前8時30分～午後1時～ ■【家庭系ごみ】65円/10kg【事業系ごみ】110円/kg ☎仙北組合総合病院・整形外科(大曲) ☎0187-63-2111 ☎城南堂歯科医院(仙北市) ☎0187-54-3678 ☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
4 月	
5 火	
6 水	仙北地域行政相談 ■午後1時30分～■紫陽花館
7 木	
8 金	
9 土	
10 日	秋田県議会議員一般選挙投票開票日 ■【投票】午前7時～午後7時・各投票所 ■【開票】午後8時30分～・大曲体育館 あの歌この歌 in 大曲 ■午後2時開演■大曲市民会館・大ホール(1,000円～2,000円) ☎大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131 ☎長尾歯科医院(中仙) ☎0187-56-4405 ☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
11 月	
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	
17 日	全市一斉クリーンアップ ■午前中■市内各地 ☎仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111 ☎佐藤歯科クリニック(太田) ☎0187-86-9955 ☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
18 月	協和地域行政相談 ■午前9時～■淀川分館 太田地域行政相談 ■午前9時～■太田庁舎相談室 大曲地域行政相談 ■午前10時～■大曲庁舎市民ホール 南外地域行政相談 ■午前10時～■南外コミュニティセンター 協和地域行政相談 ■午後1時～■協和市民センター(和ピア)
19 火	
20 水	神岡地域行政相談 ■午前10時～■神岡福祉センター
☎…休日外科当番医 ☎…休日歯科当番医 ☎…小児救急診療 午前10時～午後4時 午前9時～午後1時 午前9時～午後3時	
休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始 ☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時	

広告ページ

環境対策、省エネ、バリアフリー、耐震化 生活環境の向上に各種補助制度をご利用ください

環境

環境、省エネ、バリアフリー、耐震化のいずれかの目的で行う、住宅のリフォームに補助金を交付します。

◆対象者／市に住民登録し居住していて、家族全員が市税を滞納していないこと

◆対象住宅／対象となる方が自ら居住している市内の住宅（増築部分、併用住宅の店舗、事務所部分、賃貸借住宅は不可）※マンション等の集合住宅の場合は居住している専有部分のみ対象

◆対象工事／全体の工事費が30万円以上で、次の①～④の工事費が全体の2分の1以上の、市内業者が請け負う工事（申請時、未着工のもの）

①環境対策／公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽のいずれかに接続する工事に伴うトイレの水洗化、風呂場、流し台等の改修工事

②省エネルギー対策／住宅の断熱工事、太陽光発電設備設置工事、自然冷媒ヒートポンプ給湯器設置工事など

③バリアフリー化／床の段差解消、便器の洋式化、手すりをつける工事など

④耐震化／昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化工事

◆受付窓口／

大曲地域／建設部建築住宅課（大曲南庁舎）
大曲以外の地域／住宅のある地域の支所農林建設課

◆補助金の額／全体工事費（消費税含）の10％で、上限は30万円

【住宅リフォーム助成を希望する方へ】

- 申請は住宅1戸につき1回限りです。平成22年度の補助金の交付を受けた住宅は今年度申請できません。
- 市と市が加入する団体等から補助金等の助成を受ける場合、工事費からそれらの助成を受けた部分と交付される金額を除きます。
- 「秋田県緊急経済対策住宅リフォーム緊急支援事業補助金」との併用は可能です。

LED Lighting

LED照明の購入費用を補助

【問い合わせ・申請】

環境交通安全課

☎ 0187-63-1111（代表）

各支所市民サービス課

電

球や蛍光灯に比べ、消費電力が少なく寿命も圧倒的に長いLED照明を、一般家庭で設置・交換する費用の一部を補助します。※工事費用は含まず電球と照明器具の購入費用のみ補助対象

◆対象／次のすべてに該当する方

①居住住宅用にLED電球、またはLED照明器具を購入する方

②4月1日以降に、市内の家電品店等で購入した方

◆申請者／市内に住所がある世帯の代表者（世帯主以外でも可）※2度目の申請はできません

◆補助金額／購入費用の2分の1（100円未満は切り捨て）

※LED電球を購入する場合は上限1万円、LED照明器具を購入する場合は上限5万円

◆持参するもの／領収書またはレシートの原本（メーカー・型番・品番が分かるもの）、通帳（申請者名義）、印鑑、身分証明書（運転免許証等）

人口と世帯数

※()内は前月比

2/28現在

人 口	90,614人	(- 84)
男	42,690人	(- 27)
女	47,924人	(- 57)
世帯数	30,846世帯	(+ 3)

人口増減内訳

出 生	37人
死 亡	114人
転 入	89人
転 出	111人

●編集発行 秋田県大仙市企画部総合政策課 ☎ 0187(63)1111(代表)
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
●発行日 毎月2回（1日・16日）
●印刷 株式会社 仙北印刷所

担当者コラム

今日も“だいせん日和”

▼関東大震災に次ぐ被害をもたらした今回の震災。映像で見る津波の被害の甚大さに、現実のことなのかと目を疑った。今なお、この惨状で過ごす被災者の方々の不安は、推して知れるものではない▼テレビやラジオから被災された方々への励まし、応援のメッセージを毎日耳にする。英国サッカーの名門クラブチーム「リヴァプール」は「You'll never walk alone」という歌を被災地へ贈った。「あなたは独りじゃない」世界中から寄せられたメッセージは被災者に寄り添い、励まし、力となる▼4月から仙北支所の市民サービス課に異動になりました。入庁以来3年間、取材現場やお便りであたたかい励ましの言葉をいただき、それが私の広報の原動力となりました。本当にありがとうございます。最後まで3年間情熱を注いだ、愛してやまないこの紙面からメッセージを。がんばろう東北（ゆ）